

**第13回汚職防止刑事司法支援研修**  
**「汚職防止のための効果的な刑事司法の運営」**

1. 日程及び参加者

- 平成22年10月18日（月）～11月12日（金）
- 海外参加者16か国17名
- 国内参加者6名（うちオブザーバー2名）

2. 研修概要

汚職は、社会の安定と安全に深刻な脅威をもたらし、持続的発展と経済成長を妨げる。それは今や、国家の枠を超えて対応すべき重大な問題である。

本研修の目的は、汚職対策について、参加各国における刑事司法上の問題点の改善・強化策を検討することにより、参加各国における犯罪の防止及び刑事司法の充実・発展に寄与するとともに、参加者の相互理解を促進し、各国の実務改善のための継続的な情報交換に向けたネットワークを構築することにある。

主要な具体的検討項目は以下のとおりである。

- (1) 各国における汚職と関連犯罪の現状並びにその捜査、公判及び犯罪収益の没収に適用される法制度
- (2) 汚職犯罪の捜査、公判並びに犯罪収益の没収の現状、課題及び対策
  - ア 犯人処罰に主眼を置いた方策・制度に関する現状及び課題
  - イ 犯罪収益の没収と財産の回復に主眼を置いた方策・制度に関する現状及び課題

3. 客員専門家等

本研修の一環として、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行った（敬称略）。

**【客員専門家】**

- ディモステニス・クリシコス 国連麻薬・犯罪事務所（UNODC）  
汚職経済犯罪局条約課犯罪防止刑事司法職員  
「国連腐敗防止条約（UNCAC）：刑事司法機関に関連する条項に特に焦点を当てた概観」  
「UNCACの批准と履行の奨励及び促進に関するUNODCの活動－UNCAC履行のフォローアップに関するUNCAC加盟国会議及びそのワーキンググループの役割とその結果」
- コウ・テック・ヒン シンガポール汚職行為捜査局副局長  
「シンガポールにおける汚職対策」  
「汚職犯罪の捜査と起訴」
- スティーブン・ラム 香港特別行政区独立汚職対策局副局長代理

「汚職への取組－香港の経験」

「捜査の成功例」

【外部講師】

- 下川 徳純 東京高等検察庁公安部長  
「汚職捜査における関係機関の調整」
- 山下 貴司 法務省刑事局国際刑事企画官  
「汚職及び国際協力」
- 久保 裕司 警察庁刑事局組織犯罪対策部犯罪収益移転防止管理官付課長補佐  
「日本におけるマネーロンダリング対策－JAFICの役割」
- 城 祐一郎 大阪地方検察庁堺支部長  
「日本における汚職捜査と起訴」



研修参加者入所



アジア研国際会議場



東京地方裁判所見学



ACP Fみのる会意見交換会

